令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
地歴公民	地理総合	２	２－１～２－７

１．学習の到達目標

１．地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解する。
２．地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
３．地理に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	第１編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第１章 私たちが暮らす世界 第２章 地図や地理情報システムの役割 第３章 資料から読み取る現代世界 第２編 国際理解と国際協力 第１章 人々の生活文化と多様な地理的環境 １節 生活文化の多様性と国際理解 ２節 生活文化と自然環境①地形	・地図にはさまざまな種類が存在することを理解し、種類に応じた用途の多様性を考える。 ・交通手段の多様性とその長所、短所について理解し、交通手段の発達による生活の変化を考える。 ・日本の位置と領域について理解する。 ・多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考える。 ・地域によって文化が異なる理由について理解する。
２学期	３節 生活文化と自然環境②気候 ４節 生活文化と産業 第２章 さまざまな地球的課題と国際協力 １節 地球環境問題 ２節 資源・エネルギー問題 ３節 人口問題 ４節 食料問題 ５節 居住・都市問題 ６節 民族問題 ７節 持続可能な社会の実現をめざして	・大気の大循環によって生じる気圧帯について理解する。 ・自然環境の面から、食生活の地域差について理解する。 ・気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考える。 ・資源・エネルギーの生産地と消費地は地理的に離れていることを理解する。 ・エネルギー資源の種類について理解する。
３学期	第３編 持続可能な地域づくりと私たち 第１章 自然環境と防災 １節 日本の自然環境の特色 ２節 さまざまな自然災害と防災 第２章 生活圏の調査と地域の展望	・日本の地形の特徴について理解する。 ・日本の春夏秋冬それぞれの季節を特徴づける天候・気候の要因を理解する。 ・過去の災害の記録が今後の災害の軽減につながり得ることを理解する。

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	定期試験（中間 期末）、平常点（小テスト・ノート提出・宿題提出含む）による。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、防災、地域や地球的課題への取り組み等を理解している。地図や地理情報システムなどを用いて調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	地理総合（東京書籍）
副　教　材	地理総合ワークノート（東京書籍）新詳高等地図　（帝国書院）